

新型コロナウイルス感染症対策

『感染リスクが高まる「5つの場面」』

これまでの感染拡大の経験から、感染リスクが高い行動や場面が明らかになってきました。一方で、屋外で歩いたり、十分に換気がされている公共交通機関での感染は限定的と考えられます。新型コロナウイルス感染症の伝播は、主に「クラスター」を介して拡大することが分かっています。これまでのクラスター分析で得られた知見から、

- ・ 感染リスクが高まる「5つの場面」
- ・ 感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

が新型コロナウイルス感染症対策分科会により提言としてまとめられました。国民のみなさまには、引き続き、感染リスクが高い行動を避けていただき、クラスター連鎖を抑えて、感染拡大防止にご協力をお願いします。

場面1 飲酒を伴う懇親会等

- ・ 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- ・ 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- ・ また、回し飲みや箸などの共用は感染のリスクを高める。



場面2 大人数や長時間におよぶ飲食

- ・ 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- ・ 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面3 マスクなしでの会話

- ・ マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- ・ マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- ・ 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面 4

狭い空間での共同生活

- ・狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- ・寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面 5

居場所の切り替わり

- ・仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- ・休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



詳しくは、

<https://corona.go.jp/proposal/>



【編集後記】「新型コロナ「第3波」」

新型コロナウイルスの感染者数は11月以降急増し、第1波（4月頃）、第2波（8月頃）に続く第3波が襲来している。第3波の特徴はクラスター（感染集団）の多様化で、繁華街に加え、職場や大学、外国人コミュニティーなどで広がっているという。

こうしたコロナ禍でも、日程や会場を分散したりネットを活用したりして、3密を避け工夫をしながら防火・防災の取組みを進めておられる幼少年消防クラブや女性防火クラブ、自主防災組織等には、本当に頭の下がる思いである。

政府の感染症対策分科会の提言では、感染リスクが高まる5つの場面として「飲食を伴う懇親会等」、「大人数や長時間におよぶ飲食」、「マスクなしでの会話」、「狭い空間での共同生活」などがあげられている。こうした場面を避け、引き続き一人一人がマスクの着用、手洗いや手指の消毒、3密回避の徹底など感染防止に努めることが求められている。

今年も残すところあとわずか、新しい年を迎えるが、一日も早くコロナ禍が収まり平穏な日常が戻ることを願っている。

地域防災に関する総合情報誌 **地域防災** 2020年12月号（通巻35号）

■発行日 令和2年12月15日

■発行所 一般財団法人日本防火・防災協会

■編集発行人 西藤 公司

〒105-0021 東京都港区東新橋1-1-19（ヤクルトビル内）

TEL 03 (6280) 6904 FAX 03 (6205) 7851

URL <https://www.n-bouka.or.jp>

■編集協力 近代消防社